

# 教科「芸術Ⅰ」

## 科目「書道Ⅰ」

(1年次)

単位数	2単位
担当者	森谷 美和
教科書	書Ⅰ (教育図書)
副教材等	学習プリント、作品手本等

### 【1】科目の目標

- ・書道の幅広い学習活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
- ・書に親しむ活動を通して感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための能力を伸ばす。
- ・書的美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を養い、書の伝統と文化について理解を深める。

### 【2】科目の内容と進め方

1学期：漢字の書の臨書（楷書）、2学期：漢字の書の臨書（行書）、篆刻、漢字仮名交じりの書 3学期：仮名の書の臨書

### 【3】学習形態

書道室で授業を行う。作品の制作を行いながら、作品の背景について一斉、グループで学習を行う。

### 【4】学習上の留意点

「漢字仮名交じりの書」では、基本的な用具用材の扱い方を学びながら、自らの構想に基づいて調和について学習する。「漢字の書」では、様々な漢字の書的美と技法を学ぶ。「仮名の書」では、日本の伝統的な仮名の書的美の特質を理解することを学習する。

### 【5】評価の方法と評価の観点

#### ① 評価の観点

- 1 書への関心・意欲・態度：書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組めたか。
- 2 書表現の構想と工夫：書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫しているか。
- 3 創造的な書表現の技能：創造的な書表現をするために、書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技法を身に付けることができたか。
- 4 鑑賞の能力：日常生活の書の効用や、書の伝統と文化について関心を持ち、鑑賞の創造的活動に取り組めたか。

#### ② 評価の方法

- ・授業での学習活動の様子、作品への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・毎時間評価シートで学習の振り返りを行うことで、次時への取り組みにつなげられるかを評価する。
- ・作品の添削を通して、技能を身につけられたかを評価する。

### 【6】その他

なし